

松崎社協だより

発行
松ヶ崎社会福祉協議会

編集責任者
関 口 力

地域の良き隣人として

社会福祉法人 京都総合福祉協会

理事長
岡田秀人

二三九

松ヶ崎学区の皆様こんにちは。社会福祉法人京都総合福祉協会理事長の岡田秀人でございます。平成二十一年、歴史ある北山の地に北山ふれあいセンターオープンを開始させていただき、高齢者の皆様や障害のある子供たちをはじめとした利用者の皆様への支援を開始するとともに、法人の本部もこの地に移転し、新たな歩みを始めさせていただきました。ふれあいセンターの建設からこれまでの間の松ヶ崎学区の皆様をはじめとした地域の皆様の温かいご支援とご理解に深くお礼を申し上げます。振り返ればこの地に施設が建設できた出発は、「福祉」に活用にするようによし、土地を京都市にご寄附頂いた故梶山千鶴子様のご厚志に始まります。地域の皆様や梶山様からいただいた志に適うよう法人として歩み続けていきたいと考えております。

障害のある子供たちへの社会的、制度的な支援が皆無に等しく、ほぼ家庭での養育に任されたいた時代があり、何とかしなければとの強い思いが、全国で様々な形で芽生え、多くの賛同者を得て、福祉の取り組みが始まりました。昭和三十年に始まつた京都Y.M.C.Aの皆さんによる琵琶湖での障害児のキャンプもその一つです。琵琶湖のキャンプが、多くの障害のある子供たちと学生の皆さんをはじめとしたボランティアの皆さんのがんばりをさせて、昭和三十七年には、日本海でのキャンプの開始へつながつて行きました。私ども法人もその前身の時代から琵琶湖キャンプの運営と日本海キャンプの開始に関わり、昭和四十七年には京都障害児福祉協会として法人設立しその歩みを始めました。

北山ふれあいセンターでの
取り組み

の名前も「京都総合福祉協会」と改めることとしました。

京都総合福祉協会が目指すこと

ています。楽しい催しもお店も
多数あります。ご参加をお待ち
しております。

一階には障害のある人たちが働き、訓練を積む、喫茶スペースもあります。同じく一階には研修室もあります。研修室は、地域の皆さんに活動の場として提供（要予約です）しておりますので、喫茶スペースともども奮つてご活用ください。当協会がこれまで取り組んでこなかつた高齢者支援にも新たに取り組むと

人口減少と
それに
よつて
変わつ
ていく
社会の

A black and white photograph showing a group of approximately ten people in a room, focused on a large, square rug or tapestry spread out on the floor. The rug features a complex geometric pattern of squares and diamonds. Several individuals are kneeling or crouching around the perimeter of the rug, looking down at it intently. In the background, there are shelves with various items and a person standing near a counter. The lighting is somewhat dim, creating shadows and highlights on the rug's surface.

終えましたが、制度が整つていいところから人が繋がりあって支援の輪を形づくっていく、その精神は協会のDNAとして永く引き続けたいと考えています。

ともに秋（十）月又は毎年十一月に



変化の中で、障害のある子供たちや大人たちの未来をどのように拓いていくかが大きな課題となっています。障害のある人には大きな可能性がありますが、障害者を支援する人間も、辛いばかりではない、楽しさや喜びを感じるその瞬間を支えとして、自らの可能性を広げることができます。誰しも可能性は有しながら生きています。お互いが支えあう社会の再生に向けて、私どもの協会がいくばくかの役割を果たせればと考えています。



結
ひに

変化の中で、障害のある子供たちや大人たちの未来をどのように拓いていくかが大きな課題となっています。障害のある人には大きな可能性があります。障害者を支援する人間も、辛いばかりではない、楽しさや喜びを感じるその瞬間を支えとして、自らの可能性を広げることができます。誰しも可能性は有しながら生きています。お互いが支えあう社会の再生に向けて、私どもの協会がいくばくかの役割を果たせればと考えています。

す

皆様のご支援をお願い申し上げます
とともに、皆様のご来所を心からお待
ちしております。

敬老会

気持ちの良い秋晴れの日に、アビカ

川嶺京都市にて第二十五回敬老会が盛大に開催されました。

区長池内正貢様より、昨年相次いで起こつた災害を受けて地域のつながりと住みよい街づくりの重要性を強調され、また、自治連合会会長の岩崎猛彦様からは、災害に備えるには先ずは町の組織づくりが大事とのお話をいただきました。

午前の部は、松ヶ崎小学校の三年生が歌やりコーダー演奏を披露してくれました。「エーデルワイス」の演奏に合わせて口ずさむ参加者の姿も見られました。また、学校での日々の生活の様子や一年間の学校行事の紹介では、子供たちは一人ずつ



前に出て元気な声で発表してくれ、皆さんにこやかに聞いておられました。その後、各テーブルに数名ずつ子供たちが混ざり、一緒に手遊び歌で楽しみました。

市政協力委員会会長 島浩之様による乾杯の御発声の後、美味しいお食事とビールなどをいただきながら歓談の時をもちました。

先生、井栗康子先生に、恒例の頭の体操とすこやか体操をしていただき、和やかな雰囲気のうちに閉会の時間になりました。皆様の絆が深まつた楽しい一日でした。

すこやか学級

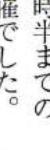
全国的に猛威をふるつた台風、大雨による傷も癒え、松ヶ崎にも平穏な日常が訪れつつある向寒の頃、十八名の学級生を迎えて開催。いつものように、血压測定を終え開会。出欠をとり、なつかしい季節の歌を唄つた後、京都博愛会病院の與那覇看護師長様による「誤嚥性肺炎」についての健康講話。身近に潜む危険を知ることにより、もう若くはないということを改めて実感させられる良い機会となつた。恒例の井栗先生のクイズを挟み昼食。午後の部は一年生による「散歩の歌」で癒され、工作的ではリボンの枠組みで飾られた額縁(写真参照)を制作。いつものことながら、吉田・井栗両先生の準備の手際良さには感心させられることしきりであつた。個々の



記念撮影を終え、無事終了。最後にすこやか体操で体をほぐし、散会となつた。

一月十五日(金)

なつたすこやか学級の振替として、初めての試みで
午後一時から
三時半までの
開催でした。





市域京都府地
域リハビリテ
ーション支援
センターの副
センター長・
清水真弓様よ
りリハビリテ
ーションにつ
いてのお話が

平安時代を想起させます。平安宮の大極殿は平安神宮に再建されていますし、造酒司（みきのつかさ）という酒などを醸造していた所は京都アスニー辺りと推定されています。その柱穴の跡が入口前の石畳にあります。また街中には定家様（ていかよう）という書体がいろいろな老舗の看板や暖簾、歌碑などに使われていることが目につきます。これは平安時代の有名な藤原定家の自筆の文字から作られた書体です。（写真参照）

い参加者一名をお迎えして男女七名ずつの十四名の参加がありました。いつもの通り血圧測定、健康チエツクを済ませ、十一時の開会時間を迎えました。まず、関口会長の挨拶に始まり、吉田先生のオルガン演奏に合わせてお誕生日の方々を歌でお祝いし、童謡「春が来た」と「幸せなら手をたたこう」を身振りを混ぜながら歌いました。統一の健康講話は、博愛会病院 與那覇看護師様より、「関節リウマチのお話」がありました。リウマチは高齢者や女性がなる病気とおもわれがちですが、男性や三十五十代の女性にも多い病気だそうです。特徴的な初期症状は、朝の両手のこわばりで、特に手指の小関節から発症することが多いようです。しかし、この初期症状が必ずしも起くるとは限らず、診断が非常に難しい病気のようです。喫煙と過度の飲酒は発症のリスクを高めるので注意が

字当てクイズや洋楽器の名前を漢字で表した言葉を当てるクイズや、楽器を鳴らした数を聞いて計算をするクイズもしました。集中して頭を使うとおなかも減り、ちょうど昼食となりました。もうすぐお雛祭りなので、お雛様の包みのちらし寿司のお弁当やお菓子をいただきながら、歓談の時をもちました。午後からはまず、五十音順に野菜の名前を思い出すクイズをしました。探し終わつたころに、二年生の児童たちが歌のプレゼントにやってきてくれました。「手のひらを太陽に」の歌を元気いっぱい大きな声で歌つてくれました。その後は、マイノートの表紙づくりに取り組みました。真っ白なノートの表紙をご自分のデザインで、桜の形や扇型、丸などの形に切つた色とりどりの和紙を貼つて模様にしました。

(3)

その後、洛陽病院の理学療法士の保田直宏様、江口悟様よりロコモティイブシンドロームを予防する簡単なトレーニングを教えていただきました。お茶とお菓子でひと息ついていたいた後は、社協の関口会長より「日當の風景に見る平安時代」と題して講演がありました。会長のご専門は平安時代史で現在は同志社大学嘱託講師です。

このように少し視点を変えてのんびり歩いて平安時代を感じてもらえれば幸甚です、というお話をしました。皆さん興味深く聞き入つていらつしやいまして。



で、日頃から
心がけましょ
うということ
でした。お詫
の後には、早
速、井栗先生
のご指導で手
指の体操をし



前回の文字のシールを貼つて出来上がり
ました。写真を貼つてアルバムにする
もよし、詩をつづつて詩集にするもよ
し。

最後は恒例のすこやか体操で今年度
のすこやか学級は終了となりました。



また、来年度も参加してくださる方々と御一緒に、楽しい時間を過ごさせていただけることを、役員一同心待ちにしております。

カラオケ大会

十一月七日(金)

師走に入り、いよいよあわただしく過ぎていく毎日ですが、天候穏やかなこの日、年末恒例の第八回すこやか学級カラオケ大会がアピカルイン京都で開催されました。

三十三名ののど自慢、歌好きの方が参加されました。

練習の成果を發揮され、また来年に向けて英気を養つてください」との開会挨拶で開宴。ふれあい教室担当の水室さんの司会で、「男の勝負（北島三郎）」から始まりました。演歌、歌謡曲、英語の曲、せりふ入りの歌など、出演の方にお得意の歌をご披露いただきました。皆さん、気持ちを込めて歌われていて、とてもすてきでした。

また席に座つておられる方も一緒に

口ずさんでおられて、なごやかな雰囲
気でした。

お昼には美味しいお弁当をいただき
おしゃべりをし、親交を深めておられ
ました。

午後からも、もう一度順番に歌つて
いただき、楽しい時間があつという間
に過ぎました。

新春
おたのしみ会

一月十九日(土)
「食べて笑って新しい年を迎えよう」
世代間交流行事として松ヶ崎児童館に



区民運動会

台風二十五号の影響で一日順延となり、体育の日に体育振興会主催の区民運動会が開催されました。青空が広がる好天気のもと、多数の大人、子供たちが集まりました。皆さんいろいろな競技を楽しみ、昼食前にはさし踊りを踊り、最終種目の町対抗リレーまで大いに盛り上がり、たくさんの賞品を手に笑顔であふれていました。

社協役員は例年通り、売店担当として、ジュース、パン、おにぎりを売りました。

乳幼児から高齢の方まで大勢の地域の方が来場されました。先ず初めに関口会長から開会のご挨拶があり、続いて学童クラブの二十余名の児童たちによる「Y.M.C.Aダンス」の発表がありました。テンポの良い曲に合わせてとても元気よく踊りを披露してくれました。つぎにお待ちかねのおもち料理が館庭で振舞われました。野菜たっぷりのお雑煮、甘くておいしいおせんざい、子どもに人気のきな粉、甘じょっぱい海苔しようゆの四種類のおもち料理です。ホットプレートで焼くおもちがなかなか間に合わず、長い行列ができるしまいました。何度も繰り返し並んでおかわりをして食べている子どももいて、お腹は大丈夫かと心配になりましたが、皆さんお腹一杯で満足していましたが、もたちは見入だけたのではないでしょか。

左京区災害ボランティアセンターに関する研修会

十二月十四日（金）

Cを使つて行われる恒例の研修会。今年は台風二十一号の被害を身近に経験した左京区民にとって、従来根拠なく信じようとしていた安全な地域との認識が最早神話でしかない事を実感させられたことにより、例年とは異なった雰囲気の内に開催された。ボランティアセンターの役割についての説明と実践報告がなされた後、「地域で困りごとを把握するため出来る事は何か」についての意見交換がなされ、実体験に基づいた切実な話題が多数出され、近年にない盛り上がりの内に閉会となつた。

大人も子供も一生懸命に見ていました
例年、お庭の奥で行われていたお餅
つきが今年は実施されず、楽しみにして
てくれていた子どもたちが残念そうで
したが、大人も子供も一緒に一日楽し
んでいただけたことと思います。

編集委員

平庄高梅関
岡司野原口
信美規慈
子紀子子力

印刷所
有限会社 章美プリント
〒601-8441
京都市南区西九条南田町
TEL 075-691-1624